（様式６－１）

実績概要（ホームページ掲載用）

研究又は活動のテーマ	鹿児島県版地盤情報データベースの工学的活用に向けた調査および開発
助成事業者	鹿児島大学学術研究院理工学域工学系
代表者	酒匂　一成

（目的）

工学的活用に向けた「鹿児島県版地盤情報データベース」課題解決および防災分野への展開について調査および開発を行うことを目的としている。それらの実現に必要な“工学的活用のための鹿児島県の標準地盤モデルの提案と地盤情報デ―タベースへの反映“や”３次元地盤モデルの構築“に取り組んだ。

（概要）

今回の研究課題では，それらの実現に必要な“工学的活用のための鹿児島県の標準地盤モデル（地質断面の標準凡例）の提案と地盤情報データベースへの反映”や“鹿児島県版地盤情報データベースを活用した３次元地盤モデルの構築”に取り組む。さらに，“今後の地盤震動特性評価，液状化危険度判定，降雨流出解析などへの適用を実現するために必要な地盤モデルの開発やデータ収集”を行う。

本研究の活動成果の概要は以下の通りである。

１）工学的活用のための鹿児島県の標準地盤モデル（地質断面の標準凡例）の提案
収集した地盤情報データを参考に，海水準変動から想定した堆積過程を基に鹿児島市平野部の工学的活用に適した標準地盤モデルを提案した。

２）標準地盤モデルの地盤情報データベースへの反映
項目１）で提案した標準地盤モデルから，ボーリングデータを用いて複数の断面における層序の断面図を作成し，データベース内で見られるようにした。

３）三次元地盤モデルの構築
提案する標準地盤モデルに則った層序の断面図を基に，三次元地盤モデルの構築を試みた。三次元地盤モデルを構築する上での細かな課題について，申請者らで議論し，改善を図った。

４）地盤情報データの収集
鹿児島県内の未収集のボーリングデータなどを収集し，データの内容を確認し，データベースに反映した。

５）地盤情報データの分析方法の検討
主に鹿児島市内のボーリングデータから，鹿児島市平野部の地盤工学的特徴についてデータ整理し，統計学的手法などを用いて，工学的地盤特性についてまとめた。

本研究の成果は，今後の鹿児島県内での防災や施工に関する計画や研究の参考資料として利用価値が高いものになると考えられる。